

# 自然と生き物の色々な話

## ～コウノトリのエサ～

兵庫県北部の豊岡市一帯にすんでいるコウノトリは、国の特別天然記念物に指定されています。現在、日本やロシア、中国、韓国などの国々を合わせても、2,000羽あまりしかいないとされ、世界的にも絶滅が心配されています。

かつて日本では、あちらこちらで野生のコウノトリが見られましたが、今から45年ほど前に姿を消してしまいました。そこで、コウノトリと人がいっしょにくらせる環境づくりとともに、コウノトリを増やして野生にもどす取組みをすすめています。



コウノトリは、川や湿地、田んぼといった水辺にすむ大きな鳥で、つばさを広げると2メートルにもなります。

コウノトリは肉食（動物を食べる）で、飲み込める物なら何でも食べる食いしん坊ですが、主にはオタマジャクシやカエル、バッタといった小さな生き物をたくさん食べています。大きな魚やヘビなどを食べることもありますが、大きな生き物は数が少なく、それらを食べつくしてしまうとエサがなくなってしまうことから、ふだんは小さな生き物をたくさん食べておなかをいっぱいにはしています。

コウノトリの食べ方は、きびしい自然の中でじょうずに生きていくための知恵といえます。



# コウノトリはこのようなものを食べています

川や田んぼ、ため池、河口などにすむ動物で、オタマジャクシ以上ウナギ以下の大きさの動物であれば、全てコウノトリのエサになります。飼育されているコウノトリは海の魚も食べます。

